

主任者 コーナー

平成 27 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 56 回放射線管理研修会) のご案内



放射線安全取扱部会
部会長 宮越順二

今年の年次大会は 11 月 26、27 日に金沢市文化ホールで開催されます。東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故以来、4 年 8 か月が過ぎようとしていますが、マスコミなどの放射線に関する報道は依然として多く、放射線安全取扱部会の役割も大きいと考えています。

さて、今年度の大会のメインテーマは、「放射能・放射線の情報を正しく発信するには」です。放射能・放射線に関する報道は、時には過大・過小評価されて受け取られることがあります。今回は、部会員としても、本来の役割を更に考えさせられるテーマです。

まず、初日の特別講演（一般公開）の 1 つは、山出保氏（前 金沢市長、石川県中小企業団体中央会会長）より、「歴史と文化のまちづくり」と題して行われます。山出氏は金沢市長時代から、金沢市の文化の魅力を大きく発展させてこられた方です。歴史と文化の生の声を拝聴できますこと、今から楽しみです。また、原子力規制委員会原子力規制庁放射線規制室の島根義幸氏から、「放射性同位元素等の規制に係る最近の動向」と題して、行政の立場から特別講演が行われます。初日のシンポジウムは、「核医学による最新診断および治療法」（一般公開）と題して、アルツハイマー病、心臓疾患や最新のがん治療法について紹介されます。

3 つ目の特別講演は、2 日目に、「小動物

PET/SPECT-CT 装置を用いた *in vivo* 動物研究の現状と将来性」と題して、間賀田泰寛氏（浜松医科大学メディカルフォトリクス研究センター）より、最近注目されている小動物用のイメージングを利用した研究について紹介されます。シンポジウムとして、情報を提供する立場とその情報を発信する立場の相互の理解が重要な「メディア・リテラシーを考える」、放射線管理者にとって役立つ「放射線施設改修工事および廃止における注意点」が行われます。さらに、中学校・高等学校の教員を対象とした放射線教育研修会の中間報告が行われます。

その他、例年行っている相談コーナー、機器展示や書籍コーナーも設けられます。主任者の日頃の疑問を解消する機会として活用いただければ幸いです。この年次大会が、放射線に関する公共安全・安心の確保に寄与する部会の目的を達成するため、その役割を果たすことができる機会と確信しております。今年の 3 月には、北陸新幹線が開通し、特に関東方面からは金沢市を訪れやすくなりました。多くの部会員の皆様がこの機会に年次大会に参加されることを願っております。末筆ながら、年次大会開催に向けて精力的な準備をされました、柴和弘実行委員長、中部支部を中心とした実行委員会の皆さん、事務局の方々に心から感謝申し上げます。
(京都大学生存圏研究所)